

四旬節第5主日

福音朗読 ヨハネ 11・3-7、17、20-27、33b-45

2026.3.22

カトリック高円寺教会 9:30 ミサ
主任司祭 高木健次神父

今日の福音では、イエス様が墓から友人であったラザロを呼び出す、そういう奇跡と言いましょ—ヨハネの福音書では奇跡という言葉を使わないでしるしと言いますけども—それを示されたというところの一部が朗読されたわけですけども、そのしるしを通して、イエス様がどういう方か、また神様の望みが何であるかを伝えようとされるというのが、ヨハネの福音書の言いたいことだと思います。

イエス様から命をいただくんだよ、ということですが、その命というのは単に生物として生きているということではないわけなんです。むしろ、この世の命が終わった後に神様のもとで神の命に完全に与るという希望をわたしたちは抱いておりますけども、その命のことを言っているし、そしてヨハネの福音書はその神の命、あるいは永遠の命というのは、実は、死んだ後のことだけではなくて、今、この人生を歩んでいるわたしたちの中に神様が始めようとされているということですけども、ではその神の命、あるいは永遠の命とは何かと言えば、一人ひとりが神様から頂いた自分自身の存在の尊さを受け入れ、また神様と一致して、この世に互いにその恵みを伝達し合う存在なのだということを生きるということなんだと思います、簡単に言えば。

しかし、わたしたちは、生物的には生きているのに互いを死んだ者として、また自分自身を死んだ者として、つまり、肉体的には生きているけれども、でも神の命が宿っていない者として扱ってしまうということがあり得るわけです。たとえば、誰もその人の大切さを認めないというか、あるいはその人の言葉や訴えに耳を傾けようとしないときに、わたしたちは他の誰かを死んだ者として扱ってしまっているということだし、またその人を通して神様が恵みをこの世界に、あるいは周りの人に何らかの恵みを与えようとしているんだということに目を止めない、いうならばまさに死んだ者として扱ってしまっている、墓に納めてしまっているということになります。

一方で、わたしたちは自分自身を死んだ者として考えてしまうという誘惑というか傾きにもさらされています。これは、自分自身の中に働かれる神様の恵みを信じない、たとえば、過去の色々な辛い出来事とか体験、あるいは今すでに起こっている周りの色々な状況の中に自分は翻弄されるだけの存在なのだと、あるいはそういう過去の出来事のためにもうすでに自分自身はもう人生を歩んでいくことができない、幸せになることができないんだと思い込んでしまうっていうのは、簡単に言えば絶望ですけども、それは自分を死んだ者として扱うということだし、また、自己中心的な欲望に翻弄される——キリスト教的に言えば、それを罪への傾きということになりますけども——罪への傾きに自分は勝てないんだっていう、それが人間だから、みたいなそういう中で、そういう欲望の赴くままに翻弄されるということも、自分の中に与えられた神様の命、その力強さということに目を止めないという意味で、自分自身を死んだ者として見てしまう、墓に納めてしまう。聖書が言いたいことはそういうことだと思います。

でも、そんなわたしたちに対して、他の人を死んだ者として扱うのをやめなさい、その墓石を取りのけなさいと言うし、そして自分自身を死んだ者として扱うのをやめなさい、墓から出て来なさいと、イエス様は呼びかけられるわけです。その呼びかけに応えようとするというのが回心の歩み、ということになります。

他の人の神様の子どもとしての大切さ、そしてその人を通して何らかの良いものを与えるためにねその存在があるんだというふうに信じること、また自分自身の中に罪を乗り越え、また他者と繋がっていく、この世の中を少しでも良いものにすることができる神様の恵みが宿っているのだと信じること、それがまさにそのイエス様の呼びかけに応じて墓から出てくることだと思います。

決して永遠の命というのは今のわたしたちのあり方がどっか別の場所で続いているということではない。むしろ、自分自身との繋がり、また他者との繋がり、でも根本的には神様との関係が全く新しくされるというか、その関係の中に生きるということ、そのことがイエス様がわたしたちに与えようとされる命であるということができると思います。

間もなくわたしたちは、復活祭のお祝いも2週間後にやって来るわけですけども、この復活祭の機会にあたって、それをただの年中行事として過ごすのではなく、日々

わたしたちを呼び出し、新たにされ、そして造り上げていこうとされる神様の恵みに心を開く、そういう時とすることができますように。

今日もこのごミサを通して、イエス様の呼びかけを一人ひとりの中に向けられたものとして受け取る、そういう思いを新たにしたいと願います。

ミサ説教はカトリック高円寺教会ホームページの「ミサ説教」のページにも掲載されています。

PC <http://www.koenji-catholic.jp/cgi-bin/wiki/wiki.cgi>

携帯 <http://www.koenji-catholic.jp/mobile/>